阿波市まちづくりミーティング（提案：地域の活性化や市政の発展に対する意見や提案）
2024/06/02「やねこじき・de・町おこしの会」

・町田市長あいさつ

まちづくりミーティングは昨年度3回開催し、今回が4回目（令和6年度の1回目）。阿波市は合併して来年4月1日で20年目を迎えます。合併時の人口は約42,000人、20年目を迎える阿波市の人口は約7,000人減少し約35,000人となっています。人口減少問題は、日本全体の課題となっています。

人口減少や社会情勢の変化、さらに4年半続いたコロナウイルス感染症による人流等が途絶えた影響で人と人、地域と地域のつながりが希薄化し途切れた状態となっていました。

こうした中、行政が行わなくてはならないこと（法廷受託など）や、2元代表制におけるまちづくりだけでなく、まちづくりミーティング事業を行い意見交換を実施し、市民団体の皆さんの声を聞いて、市民（民間）で出来ること、さらに行政と団体が連携して出来るまちづくりを考えていく、その場として実施しております。

本日は、忌憚のないご意見ご提案をお聴かせください。

○申請団体からのプレゼン・メンバーからの意見提言

・市長コメント（提案に対してのまとめ）

【まちづくり活動について】

阿波市には優れた市民の人材に加え、様々な資源もあります。しかしそれを活かしきれていないように思います。行政の既存事業だけを続けていくような発想や同じことの繰り返しという、固定概念に縛られたままでは、住み続けたいまちには選ばれません。

職員のやる気で、市民との距離を縮めた行政をやっていかなければならない。それには、職員の意識改革が必要不可欠。

「(仮称)まちづくり連絡協議会」についても提案を参考にさせていただきます。やる気のある方を集め、重複している部分をスリム化し連携する機会を強化していきたい。

【インフラ整備について】

公共施設の維持管理、集約、縮小、統廃合をしていく必要もあると考えています。重視するのは利用者の意見・利便性を聞くことだと職員に提示しています。

意見をいただければ調整が可能ではないかと考えます。

市の備品の貸し出し等は全国各地で行われているようですが、貸し出し条件として、公共性や公益性の観点が必要となります。

【教育機関・文化財について】

教育機関の協力も求めなければなりません。

4町公平に様々なものを後世に引き継いでいきたいです。

文化財として登録が止まっているのであれば、法や条例等現状を確認してどのようなことが出来るか研究し、報告したいと思います。

【阿波市の農業について】

阿波市は県下有数の農業地帯。農業振興課が施策を担当しています。

補助等は色々ありますが、情報提供の機会が不足しているように思います。

担当課をたらい回しにするのではなく、総合的に相談できる窓口や職員の対応について改善が必要と考えます。

【総括】

ご提案いただいた内容から、まちづくりに無関心な層への啓発や様々なまちづくり組織同士の連携を強化したいと思います。

今回、多様な意見を聞き、ご提案いただいたので、持ち帰っていろいろな角度から検討、対応策を考えていきたいです。ありがとうございました。